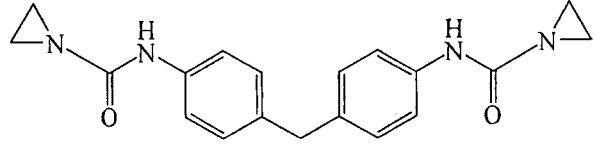
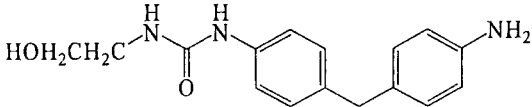


整理番号 K-1690 (NEDO 259, 5-0008)		分解度試験		分解度試験		分解度試験			
4,4'-ビス(エチレンイミノカルボニルアミノ)ジフェニルメタン		事業対象年度 平成15年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日			
(7417-99-4)		試験期間 15.12.24~16.4.16		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .			
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮			
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₁₉ H ₂₀ N ₄ O ₂ 分子量 336.39 組成式 C _{1.89} H _{2.63} N _{0.34} O _{1.15} (元素分析による)		試験濃度		試験濃度		試験濃度			
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L			
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L			
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間			
		試験結果	間接	BOD 1, 0, 0 (0)%		試験結果	間接		
直接	HPLC 68, 68, 68 (68)%		試験結果	直接					
純度* 25%	外観 白色分散液			審査部会 第 35 回		審査部会 第 回		審査部会 第 回	
不純物(物質名, 含有率) 刺激エチレンノコルフェニール(7-0174) 4% 水分 71%		溶解度(対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対アセトニトリル 1 mg/L 以下 対テトラヒドロフラン 1 mg/L 以上		16年 6月 18日開催		年 月 日開催		年 月 日開催	
融点 測定不可	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 1.4(pH7.0) (HPLC法)		判定 難分解性		判定		判定		
沸点 測定不可			備考 1. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 ・変化物 A 及び B は構造推定に至らなかった。 2. 特記事項 ・試験液中で変化し、HPLCクロマトグラム上の保持時間から、被験物質より極性の高い変化物 A, B 及び C を検出した。 						
比重* 1.1(20℃)	安定性* 酸と反応して熱を発生								
LD ₅₀ * 442 mg/kg(経口、マウス) 2,000 mg/kg(経皮、ラット)	解離定数(20℃) 測定不可(pH3.0~pH11.0間にpKaは存在しない)								
IRチャートの有無 (有)・無									
用途* 繊維処理剤、塗料、接着剤用各種水系樹脂の改質剤									
生産量(年)									
試料									
経済産業公報発表年月日	年 月 日								

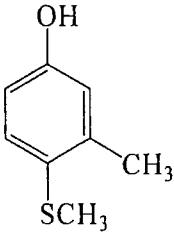
* 日本触媒添付資料による。

濃縮度試験					事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験										
試験期間					18. 2. 17 ~ 18. 4. 5					試験期間					~					
試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値			mg/L(hr)魚種()							
水槽設定濃度 ()										水槽設定濃度 ()										
被験物質		分散剤			被験物質		分散剤			被験物質		分散剤								
第1濃度区					第1濃度区					第1濃度区										
第2濃度区					第2濃度区					第2濃度区										
第3濃度区					第3濃度区					第3濃度区										
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()			
		終了後										終了後								
		日後			日後		日後			日後		日後			日後		日後			
第1	水槽濃度 ()					水槽濃度 ()					水槽濃度 ()					水槽濃度 ()				
	倍率					倍率					倍率					倍率				
第2	水槽濃度 ()					水槽濃度 ()					水槽濃度 ()					水槽濃度 ()				
	倍率					倍率					倍率					倍率				
第3	水槽濃度 ()					水槽濃度 ()					水槽濃度 ()					水槽濃度 ()				
	倍率					倍率					倍率					倍率				
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催										審査部会 第 回 年 月 日 開催										
判定結果										判定結果										
備考										備考										
分配係数から類推																				
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																				

毒性試験
年月日

依
頼

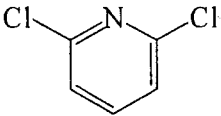
経過

整理番号 K-1699 (NEDO 268, 3-1100)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
3-メチル-4-メチルチオフェノール (3120-74-9)		事業対象年度 平成15年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 15.10.6~15.12.19		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₈ H ₁₀ OS 分子量 154.23		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD 0, 0, 0 (0)%	試験結果	間接		試験結果
直接	TOC -3, -7, -3 (0)% HPLC 1, 2, 2 (2)%		直接			直接		
純度*1 99.1%	外観 橙色粉末	審査部会 第31回 16年 1月30日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
不純物(物質名, 含有率) 残り0.9%は不明	溶解度(対水, その他) 対水 2.23 g/L(25℃)	判定 難分解性		判定		判定		
融点*1 55.8℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.6(pH2.0) (HPLC法)	備考		備考		備考		
沸点*2 278℃(1013hPa)		1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。						
密度*2 1.11 g/cm ³ (60℃)								
LD50	解離定数(25℃) pKa = 9.60 (分光光度法)	2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所 3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。						
IRチャートの有無 (有)・無								
用途								
生産量(年)								
試料 購入先 東京化成工業 TCI-EP								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

*1 東京化成工業添付資料による。

*2 International Uniform Chemical Information Database(European Chemicals Bureau)(Edition 2000)による。

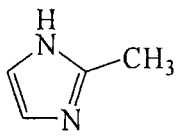
濃縮度試験		事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験							毒性試験	
試験期間		17.11.25 ~ 17.12.15					試験期間		~					年月日	
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()					試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()					依頼	
水槽設定濃度 ()							水槽設定濃度 ()							経過	
被験物質		分散剤					被験物質		分散剤						
第1濃度区							第1濃度区								
第2濃度区							第2濃度区								
第3濃度区							第3濃度区								
濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種()					濃縮倍率		脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種()						
		日後 日後 日後 日後 日後							日後 日後 日後 日後 日後						
第1	水槽濃度()						第1	水槽濃度()							
	倍率							第2	水槽濃度()						
第2	水槽濃度()						第2		水槽濃度()						
	倍率							第3	水槽濃度()						
第3	水槽濃度()						第3		水槽濃度()						
	倍率														
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催							審査部会 第 回 年 月 日 開催								
判定結果		-					判定結果								
備考		分配係数から類推					備考								
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構															

整理番号 K-1702 (NEDO 272, 5-3688)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
2, 6-ジクロロピリジン (2402-78-0)	事業対象年度 平成15年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 15. 9. 29~15. 12. 18	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₅ H ₃ Cl ₂ N 分子量 147.99	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 0, -3, -3 (0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 TOC 6, 5, 9 (6)% HPLC 3, 4, 6 (4)%	試験結果 直接	試験結果 直接
純度*1 99.0%	外観 白色結晶性粉末	審査部会 第31回 16年 1月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物 (物質名, 含有率) 残り1.0%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 842 mg/L (25°C)	判定 難分解性	判定
融点*2 87~89°C	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 2.0 (pH7.0) (HPLC法)	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 99% (汚泥+被験物質)系 99% 2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所 3. 特記事項 ・被験物質は一部が気相中に揮発したと推察される。 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	備考 ・TOC及びHPLCによる分解度は被験物質の揮発性が認められたが、(水+被験物質)系を基準に分解度を算出した。
沸点*3 211°C			
密度 1.588 g/cm ³ (25°C)			
LD50	解離定数 (20°C) 測定不可 (pH1.0~pH13.0間にpKaは存在しない)		
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*4 医薬・農薬用原料			
生産量 (年)			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 Dictionary of Organic Compounds (6th edition) による。

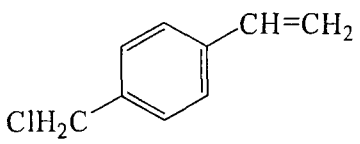
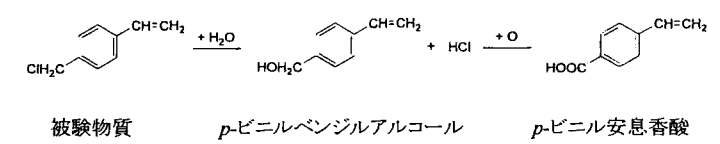
*3 The Physical Properties Database (Syracuse Research Corporation)による。 *4 14705の化学商品 (化学工業日報社)による。

濃縮度試験					事業対象年度					平成17年度					濃縮度試験					毒性試験				
試験期間					17.11.17 ~ 17.12.6					試験期間					~					年月日				
試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					試験装置 標・揮					LC50値 mg/L(hr)魚種()					依 頼				
水槽設定濃度 ()										水槽設定濃度 ()														
被験物質					分散剤					被験物質					分散剤					経 過				
第1濃度区										第1濃度区														
第2濃度区										第2濃度区														
第3濃度区										第3濃度区														
濃縮倍率					脂質含有率					濃縮倍率					脂質含有率									
					開始前 % 魚種()										開始前 % 魚種()									
					終了後 %										終了後 %									
					日後										日後									
第1					水槽濃度()					第1					水槽濃度()									
					倍率					第1					倍率									
第2					水槽濃度()					第2					水槽濃度()									
					倍率					第2					倍率									
第3					水槽濃度()					第3					水槽濃度()									
					倍率					第3					倍率									
審査部会					第56回					審査部会					第 回									
					18年 7月 21日 開催										年 月 日 開催									
判定結果										判定結果														
備考					分配係数から類推					備考														
[実施機関]					財団法人 化学物質評価研究機構																			

整理番号 K-1706 (NEDO 277, 5-0382)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
2-メチルイミダゾール (693-98-1)		事業対象年度 平成15年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 15.10.10~15.12.18		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₄ H ₆ N ₂ 分子量 82.10		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
純度*1 97.2%		外観 無色柱状または板状晶		間接		間接	
不純物(物質名, 含有率) 残り2.8%は不明		溶解度(対水, その他) 対水 100 g/L 以上(25°C)		間接		間接	
融点*2 186°C		審査部会 第31回 16年 1月30日開催		試験結果		試験結果	
沸点*2 267°C		判定 難分解性		直接		直接	
密度 0.271 g/cm ³ (25°C)		備考		直接		直接	
LD50		1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。		直接		直接	
IRチャートの有無 (有)・無		2. 実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所		直接		直接	
用途*4 輸出用、中間物		3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。		直接		直接	
生産量*4 (13年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満				直接		直接	
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR				直接		直接	
経済産業公報発表年月日 年 月 日				直接		直接	

*1 東京化成工業添付資料による。 *2 Dictionary of Organic Compounds (6th edition) による。 *3 F. Schneider, Z. Physiol. Chem., 334, 26 (1963) による。
*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験						濃縮度試験						毒性試験	
事業対象年度 平成17年度												年月日	
試験期間 17. 11. 28 ~ 18. 4. 17						試験期間 ~						依 頼	
試験装置 標・揮			LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮			LC50値 mg/L(hr)魚種()				
水槽設定濃度 ()						水槽設定濃度 ()						経過	
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤					
第1濃度区						第1濃度区							
第2濃度区						第2濃度区							
第3濃度区						第3濃度区							
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種()						濃縮倍率 脂質含有率 開始前 終了後 % % 魚種()							
		日後	日後	日後	日後			日後	日後	日後	日後		
第1	水槽濃度()					第1	水槽濃度()						
	倍率						倍率						
第2	水槽濃度()					第2	水槽濃度()						
	倍率						倍率						
第3	水槽濃度()					第3	水槽濃度()						
	倍率						倍率						
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催							
判定結果						判定結果							
備考						備考							
分配係数から類推													
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構													

整理番号 K-1708 (NEDO 279, 3-0046)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
クロロメチルスチレン		事業対象年度 平成16年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
[4-クロロメチルスチレンにて試験実施] (1592-20-7)		試験期間 17. 2. 1~17. 6. 17		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C ₉ H ₉ Cl 分子量 152.62 組成式 C _{8.38} H _{8.02} Cl _{1.00} O _{0.06} (元素分析による)		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		有機物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
間接		BOD -3, -1, -4 (0)%		間接		間接	
直接		HPLC 100, 100, 100(100)%		直接		直接	
純度*1 94.6%	外観 淡黄色液体	審査部会 第49回		審査部会 第 回		審査部会 第 回	
不純物 (物質名, 含有率) *1 残り 5.4%は不明 (有機物と考えられる)	溶解度 (対水, その他) 対水 変化のため測定不可 対メタノール 10 g/L 以上	17年11月18日開催		年 月 日開催		年 月 日開催	
融点 -20.6°C		判定 難分解性		判定		判定	
沸点*2 229°C	1-オクタノール/水分係数 log Kow = 3.70*4	備考 1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 96.6% (汚泥 + 被験物質) 系 98.0% 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・ 試料の純度が低いため、TOD及び理論DOCは組成式より算出した。 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・ 被験物質は試験液中で加水分解し、 <i>p</i> -ビニルベンジルアルコール (新規物質 log Kow = 1.98*4) が生成し、残留することを確認した。さらに一部変化し、 <i>p</i> -ビニル安息香酸 (新規物質 log Kow = 2.78*4) を3~5%生成し、残留した。また、HPLCクロマトグラム上の保持時間から、 <i>p</i> -ビニルベンジルアルコールと <i>p</i> -ビニル安息香酸は被験物質より極性が高かった。 					
比重*2 1.083							
LD50*3 960mg/kg (経口, ラット)	安定性 水中で加水分解する						
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途*3 イオン交換膜、レジスト、写真材料、ゴム・ラテックス改質、シランカップリング剤、樹脂改質							
生産量							
試料 購入先 東京化成工業							
経済産業公報発表年月日	年 月 日						

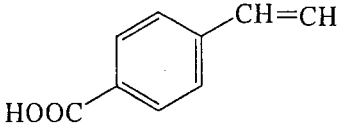
*1 東京化成工業添付資料による。

*2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets (11/1998-1/1999)による。

*3 14705の化学商品 (化学工業日報社) による。

*4 Kowwin v 1.67による計算値。

濃縮度試験 事業対象年度 平成17年度					濃縮度試験					毒性試験														
試験期間 ~					試験期間 ~										依 頼 年月日									
試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()			経過														
水槽設定濃度 ()					水槽設定濃度 ()																			
	被験物質	分散剤				被験物質	分散剤																	
第1濃度区					第1濃度区																			
第2濃度区					第2濃度区																			
第3濃度区					第3濃度区																			
濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()								濃縮倍率		脂質含有率			開始前		% 魚種()		
		終了後			日後		日後								日後		日後			日後		日後		
第1	水槽濃度()																							
	倍率																							
第2	水槽濃度()																							
	倍率																							
第3	水槽濃度()																							
	倍率																							
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催																			
判定結果					判定結果																			
備考					備考																			
p-ビニル安息香酸から類推																								
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																								

整理番号 K-1708変化物 (NEDO番号 279)		分解度試験		分解度試験		分解度試験				
p-ビニル安息香酸 (1075-49-6)		事業対象年度 平成 年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日				
		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .				
		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮				
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₉ H ₈ O ₂ 分子量 148.16		試験濃度		試験濃度		試験濃度				
		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L				
		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L				
		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間				
		試験結果	間接	BOD , , ()%	試験結果	間接		試験結果	間接	
			直接	TOC , , ()%		直接			直接	
HPLC , , ()%										
LC-MS										
純度*1 99.9%	外観 白色結晶性粉末	審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催				
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.1%については不明	溶解度 (対水, その他)	判定		判定		判定				
融点*2 143~144℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 2.1 (pH2.0) (HPLC法)			備考		備考				
沸点										
比重										
LD50	解離定数 (20℃) pKa = 4.07 (分光光度法)									
IRチャートの有無 (有)・無										
用途										
生産量 (年)										
試料 購入先 和光純薬工業										
経済産業公報発表年月日	年 月 日									

*1 和光純薬工業添付資料による。

*2 International Uniform Chemical Information Database(European Chemicals Bureau)(Edition 2000)による。

濃縮度試験 事業対象年度 平成17年度						濃縮度試験						毒性試験 年月日			
試験期間 18. 2. 9 ~ 18. 3. 24						試験期間 ~									
試験装置 標・揮			LC50値 mg/L(hr)魚種()			試験装置 標・揮			LC50値 mg/L(hr)魚種()			依 頼 経過			
水槽設定濃度 ()						水槽設定濃度 ()									
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤							
第1濃度区						第1濃度区									
第2濃度区						第2濃度区									
第3濃度区						第3濃度区									
濃縮倍率		脂質含有率		開始前 終了後		% 魚種()		濃縮倍率		脂質含有率		開始前 終了後		% 魚種()	
		日後		日後		日後		日後		日後		日後		日後	
第1	水槽濃度()								第1	水槽濃度()					
	倍率									倍率					
第2	水槽濃度()								第2	水槽濃度()					
	倍率									倍率					
第3	水槽濃度()								第3	水槽濃度()					
	倍率									倍率					
審査部会 第56回 18年 7月 21日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催									
判定結果						判定結果									
備考						備考									
分配係数から類推															
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構															